

## 1/25 協働フェスタ 開催!



今年初の木組のジャングルジムワークショップを行いました。冬場という事もあって当日は室内での開催となりました。残念ながらこのあと新型コロナウイルス感染症予防拡大を受けてこの後の多くの年度末イベントが中止となってしまいました。

## 3/1 越ヶ谷宿のひな祭り



多くのイベントが中止になる中、屋外開催という事で縮小開催する事が出来ました。当日は当時の旦那衆を気取りながら、古民家ガイドツアーを行うなど、自粛ムードを和ませるひな祭りとなりました。

## 順声平語

[第13回] こんな時にこそ手仕事の強み

新年度も  
がんばります!



年度末に入り、仕事も私事もラストスパート!というこの時期に未だかつて経験のない自粛要請に一体どうしたら良いのやら、見えない敵と戦っていくのか、はたまた共存していくのか、解決にはもう少し時間が掛かりそうですが、いろいろな事を改めて考える良い機会をいただいているような気がします。

そんな状況下でも、我々が通常行っている自然素材を使った手仕事の領域は意外にも安定しています。自ら加工し、独自の製品をつくり出す行為は外部の影響を受けにくい状況にあります。逆に、既製品で固められた現代建築は、外部要因で仕様や工程までもが変わってしまいます。

どちらが良い悪いではありませんが、自らつくり生み出す事の強みや魅力について改めて考えさせられるきっかけとなりました。

自分の周囲でも多くの産業が打撃を受けていますが、建築業界も例外ではありません。特に中国をはじめとするアジア諸外国からの設備関連部品が入ってこなくなりました。その他の建材でも製造を外国に頼っているものは納品に時間が掛かるようになっているようです。このまま感染者が増え続ければ、国内生産にも相当な影響が出てくるかもしれません。

我々もある一定量は既製品を使った建物をつくっていますので、今般の事象に全く影響を受けないという事はありませんが、今後も身近な素材と手仕事を通して、いつの時代にもどんな時にも、皆さんに必要とされる仕事を提供し続け参ります。

# おしらせ

## 1/23 近未来ハイスクール

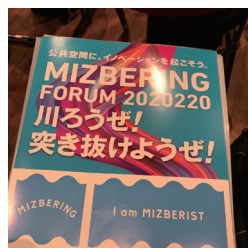


川越工業高校の普通科の学生さんたちとの未来トークをして参りました。

まだ馴染みの少ないSDG's(持続可能な開発目標)という固いテーマでしたが、今からすぐに出来る事、ちょっと先の未来に向けた可能性を語り合いました。

高校生からは我々には思いつかないようなアイデアをたくさんいただきました。

## 2/20 ミズベリング



全国各地で行われている水辺再生プロジェクトを発表するミズベリングフォーラム 2020 が今年も開催されました。

埼玉県からは3プロジェクトがエントリーされ、越谷からは畔上も関わっている「越谷レイクアンドピース」を含めた2プロジェクトが取り上げられました。

埼玉県の河川担当者からは越谷の水辺活性に対する大きな期待の声をいただきました!

今年もさらに越谷の水辺を盛上げていきたいと思います。



## 遊佐農場 OPEN!



はかり屋に新しく遊佐農場さんがオープンしました。

櫓組では既存の建物の前に野菜の販売を行うための四阿(あずまや)を新設しました。木材はもちろん100%埼玉県産材。外部に使用するため、腐りにくい木の中心部分に近い赤身の強い木材を使用しました。土台を組んで大きな梁を入れる際には社長自ら大工さんとともに作業を行いました。骨組みが出来上がるとはかり屋を訪れる人も何が出来るのかな?と興味津々。床のデッキ部分は幅の広い木材を使ったのでどっしりとした重厚感のある仕上がりになりました。屋根の一部に光を通す素材を使用し、野菜に直射日光が当ることなく、内部にあかりを取り入れました。オープン初日は日光街道沿いのイベントの開催日ということもあり、大盛況で一安心しました。

遊佐農場さんは越谷産の安心安全な野菜を販売しています。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください!



けやき建築設計・櫓組で働き始めてから5年が経ち、3月で退職することとなりました。設計から施工、調査やまちづくりまで幅広く学ばせていただき、また職人さんの皆さんには現場で本当に多くのことを教えていただきました。そして関わる人々と良い関係でひとつのものを作って行くことの大切さを感じながら仕事をさせて頂いたと思っています。今後はこの5年間で培ったものを活かしていきたいと思えます。またご縁があればよろしくお願いいたします。ありがとうございました。



ウエダ

4月に入社しました小関保波(こせきほなみ)です。3月まで東洋大学ライフデザイン学部にも所属していました。今年度からは、越谷を通じて様々な方々と関わりたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします!



コセキ

今号も最後までありがとうございました。9年前の3月には震撼が走りましたが、今回は世界中がやり場の無い憤りと不安に包まれているようです。新人類が誕生してから20万年という歳月の中で何度人類は脅かされてきたのでしょうか? この危機を英知と勇気を持って乗り越えていきたいものです。新年度からは新体制、5年振りに女性だけに囲まれた環境に戻りますが、嫌われないように精進したいと思います(笑)



ジュンペイ